

歴史文化館ニュース 第15号

2016. 7. 11

『揚輝荘での展示～地域とつながる機会～』

梶山歴史文化館館長 梶山 美恵子

今、学校・大学は地域と連携することが求められています。梶山歴史文化館・山添展示室では地域の歴史のスペースを設け、学校と地域が共に発展して来たその跡を辿っていますが、このたび覚王山の揚輝荘館長より、揚輝荘聴松閣で梶山女学園の歴史を主体とする展示の依頼があり、7月から9月の3ヶ月間「文教地区としての城山・覚王山～梶山女学園の歴史～」と題した展示を行うことになりました。梶山小学校と中学校も覚王山地区を地域学習の場として長年取り組んでいますので、この展示と一緒に参加します。揚輝荘はこれまでも本学園の児童・生徒・学生が様々な活動をする場となっていますが、展示室3室を使う展示は初めての機会となります。今後より一層地域とつながる機会となればと願っています。

【揚輝荘「聴松閣」企画展示 『文教地区としての城山・覚王山～ 梶山女学園の歴史 ～』 平成28年7月～9月末】

【展示内容】

- ① 梶山女学園附属小学校と中学校生徒の覚王山フィールドワーク
- ② 梶山女学園の歴史（梶山歴史文化館「山添展示室」の一部再現を含む）
- ③ 城山・覚王山地区の歴史（同上）

【セミナー（梶山小・中・歴史文化館による）】

日 時：7月24日（日）1時30分～2時30分

場 所：南園「聴松閣」

揚輝荘：千種区法王町2-5-17 開館時間：9時30分～4時30分
（月曜日を除く）



「揚輝荘」は、大正から昭和初期にかけて松坂屋の初代社長である第15代伊藤次郎左衛門祐民の別荘として、覚王山の丘陵地に建設されたものです。最盛期には約1万坪の広大な敷地に、池泉をめぐらし建築的・歴史的価値の高い30数棟に及ぶ建物がありました。

現在は、周辺の開発等の影響から敷地・建物の大半が失われたものの、主要な部分が残されており、平成19年に名古屋市に寄贈され、建物等の修復を終えて地域の歴史や文化を伝える施設として市民に愛される場となっています。

また、「揚輝荘」は北園と南園に別れ、南園に残っている建物の一つが「聴松閣」です。この「聴松閣」は山荘風の外観をした迎賓館で、昭和12年に建築され、地上3階、地下1階の各室は各国様式がミックスされています。平成20年には、名古屋市指定有形文化財に指定されました。



【栴山グッズ展が終了しました。】

栴山歴史文化館では、企画展「栴山グッズコレクション」（平成27年11月11日～平成28年6月15日）を開催し、開催期間中には、多くの方々にご来場いただきました。

また、関係者や卒業生の方々より、展示品にない栴山グッズの寄贈や貸し出しのお申し出があり、当初450点ほどの展示品が、終了時には500点近くになり、展示棚も増設するという嬉しい展開となりました。期間中に、資料の寄贈や貸し出しをお申し出いただいた皆様方には、厚く御礼申し上げます。さて、開催期間に行った以下2つの事項について紹介します。

① 栴山グッズ投票結果

企画展開催中、ご来場いただきました皆様に、自分のお気に入りグッズを一つお書きいただいて投票



するコーナーを設けました。今回、企画展の終了に合わせて投票用紙の集計を行った結果、第1位は栴山オリジナルパーカ（ネイビー）、第2位は栴山タータンチェック補助バッグ、第3位はキャンパスノート、栴山キューピー（大学）、三菱クルトガシャープペンでした。1位を選んだ方の中から、抽選で記念品を送らせていただきます。

② 栴山グッズコレクション（冊子）発行



企画展の開催にあたり、これまで収集してきた栴山グッズを整理し目録化をしました。この目録化したものを基に、栴山グッズコレクションの冊子を制作し、関係者及び関係部署に配付いたしました。この冊子には、282種類（学園122種類、大学86種類、中・高28種類、小学校17種類、幼稚園6種類、保育園1種類、同窓会22種類）のグッズが収録されています。

冊子発行後に寄贈された栴山グッズは収録されていないため、企画展終了時に追加分を含めた冊子の再発行を行う予定です。

【企画展 生活環境デザイン学科卒業研究・学科作品展 開催】

「栴山グッズ展」の次は、生活環境デザイン学科による「卒業研究・学科作品展」の開催です。

【会 場】 栴山歴史文化館（図書館4F）

【期 間】 2016年6月29日（水）～10月15日（土）

【開 館 日 時】 毎週水曜日・金曜日 10:00～17:00

【特別開館日】 オープンキャンパス 7/10（日）、8/10（水）
8/11（木）、9/11（日） 9:30～15:00

【特別開館日】 大学祭 10/15（土） 9:00～13:00

皆様のお越しをお待ちしております。

生活環境デザイン学科
卒業研究・学科作品展
2016年6月29日（水）～10月15日（土）

▶ interior・products ▶ apparel・media ▶ architecture・housing

【会場】 栴山歴史文化館（図書館4F）
【期間】 2016年6月29日（水）～10月15日（土）
【開館日時】 毎週水曜日・金曜日 10:00～17:00
※特別開館日：オープンキャンパス
7/10（日）、8/10（水）、8/11（木）、9/11（日） 9:30～15:00
※特別開館日：大学祭
10/15（土） 9:00～13:00

【まだまだ続く前畑秀子に関する情報】

昨年度、前畑秀子生誕100周年の企画展を終了しました。その後の情報について、以下3点を紹介します。

①前畑秀子NHK朝ドラ化誘致運動

平成27年、前畑秀子生誕100周年を機に、前畑秀子の出身地である和歌山県橋本市が「前畑秀子NHK朝ドラ化誘致運動」を開始しました。

戦後、前畑秀子氏は岐阜市に在住しながら、名古屋市営プールで水泳教室を開催し、優秀な水泳選手を育てる活躍もしていることから、橋本市は名古屋市及び岐阜市と協力の提携を結びました。その中で、和歌山県橋本市では、誘致実行委員会が中心となり署名運動が進められています。オリンピック選手として活躍した当時に在学した椋山女学園にも誘致運動の協力要請がありましたので、前畑秀子氏の出身校にあたる中学校・高等学校で署名活動を行っています。また、学園同窓会においても、可能な限りの署名活動を行っています。

NHKには全国各地から働きかけがあるようですので結果は全くわかりませんが、成功のカギは、生前の前畑秀子氏のエピソードがいかに多く集まるかに懸かっているとのことです（生前の前畑秀子氏の知られざるエピソードを知っておられる方がありましたら椋山歴史文化館まで情報をお寄せください）。

また、和歌山県橋本市では、「前畑秀子NHK朝ドラ化誘致運動」のホームページが設置されていて、ホームページから署名を行うこともできます。なお、このホームページで使用されている前畑秀子に関する写真の殆どは、椋山歴史文化館が提供しています。

②前畑秀子に関する新しい書籍2冊が発売されました。



平成28年3月と5月に小学校低学年向けの書籍として、前畑秀子を紹介した書籍が相次いで出版されました。








一つは、「人生を切りひらいた女性たち 3」（監修：伊藤 節、樋口恵子、出版社：教育画材／2016年）で、椋山歴史文化館が写真の提供を行いました。もう一つは、「ほんとうにあったオリンピックストーリーズ」（執筆：加藤万知名、出版：講談社／2016年）で、写真の提供と文章の確認を行いました。

③前畑秀子日記翻刻について

昨年、前畑秀子氏のご遺族から寄贈された遺品の中に、前畑秀子氏自筆の日記が2点あり、昨年当館で開催した「前畑秀子生誕100年展」でも、内容の一部を公開いたしました。

一つは1936年（昭和11）6月20日～8月25日の日記で、ベルリンオリンピックへ東京から出発し、シベリア鉄道を經由しベルリンで金メダルを取り、帰途ヨーロッパ諸国を廻る途中の体験が記されています。特に金メダルを取る8月11日とその前日の日記は、鬼気迫るものを伺い知ることができます。

もう一つは、9月15日～10月1日の日記で、帰途のシンガポールから神戸に上陸する直前までの船での旅の様子が記されています。なお、この2冊の日記を翻刻し、日記の本書写真と活字ページが合わせて見られるように編集し、希望者にのみ館内で公開を行う予定です。



日本人女性 初 オリンピック金メダリスト

1936年【昭和11年】ベルリンオリンピック
名古屋市 現：椋山女学園時代に

前畑（兵藤）秀子
「NHK朝の連続テレビ小説」地元誘致
2020年 東京五輪に向けて放映を

■「前畑がんばれ!」23回連呼NHK河内三省アナウンサーの歴史に残る実況中継放送。日本中を興奮の渦に巻きつけた。
■和歌山県橋本市出身
（橋本市15年間、名古屋市16年間、岐阜市49年間在住）
■1991年【平成3年】NHKテレビドラマ「前畑がんばれ!」放送2時間
■この栄光には想像を絶する「努力」があった。現役引退後も積極的に水泳に関わり、後進の指導に努めた。
69才で脳溢血で倒れてからも懸命のリハビリで克服し、プールに戻るという、不屈の精神と努力をもって、水泳一筋の人生を歩まれた。
■女性が社会進出する黎明期のシンボルであった。その前畑秀子の波瀾万丈に満ちた人生と、その偉大さを「NHK朝の連続テレビ小説」で全国民に伝えたい。

★文化功労者、朝日体育賞、勲三等瑞宝章、国際オリンピック委員会功労賞、第1回エイボン女性年賞、国際水泳連盟殿堂入り、紫綬褒章 等を受賞
★橋本市名誉市民、岐阜市民栄誉賞、名古屋市ピーナース受賞
★日本水泳連盟会長、愛知水泳連盟参事、名古屋市水泳連盟会長を歴任

朝ドラ誘致実現のための署名運動に、皆様のご協力を心からお願い申し上げます

橋本市
〒648-8585 和歌山県橋本市東家一丁目1番1号
橋本市教育委員会文化スポーツ室 TEL 0736-33-3704

前畑秀子朝ドラ誘致実行委員会
〒648-0065 和歌山県橋本市古佐田一丁目5番9号 TEL・FAX 0736-33-3922
事務局長 鈴江利夫 携帯 090-7964-4238 E-mail:maehata.ga@gmail.com

前畑秀子年譜

1914年【大正3年】
橋本市 豆腐屋長女誕生

1925年【大正14年】
11才 日本学童新50m平泳ぎ

1926年【大正15年】
12才 日本新100m平泳ぎ

1929年【昭和4年】
15才 椋山女学園に転校

1932年【昭和7年】
18才 ロンゼルスオリンピック
銀メダル 200m平泳ぎ

1936年【昭和11年】
22才 ベルリンオリンピック
金メダル 200m平泳ぎ

1937年【昭和12年】
23才 兵藤正彦（医師）結婚

1946年【昭和21年】
31才 岐阜市長森
（夫：正彦36才）内科医開業

1959年【昭和34年】
45才 正彦50才 死去

1960年【昭和35年】
46才 椋山女学園へ勤務
水泳コーチ

1967年【昭和42年】
53才 名古屋市で水泳教室開校
日本初の「ママさん教室」開校

1976年【昭和51年】から
62才～名古屋市瑞穂区で
「母親教室」「幼児教室」「子
ども教室」「スイミングクラブ」
開校。名古屋市緑区瑞穂プール
「母親教室」「子ども教室」
「シルバー教室」開校。

1995年【平成7年】
80才 没



【「栢山女学園のあゆみ」を発行】

栢山歴史文化館では、学園の歴史を伝えるパワーポイントを用意していますが、その内容の説明文のみを6ページ立ての小冊子にまとめ、「栢山女学園のあゆみ」として発行しました。大学においては、「人間論」やファーストイヤーゼミなどの中で、使っていただきました。また、保、幼、小、中、高の教職員の皆様は、自校教育の参考にしていただけるように全員に配付しました。今後は、小、中、高、大の児童、生徒、学生全員にも行き渡るよう考えて行きたいところです。



【寄贈品紹介】

○七宝の栢 (同窓会 篠崎桂子氏寄贈) ○栢 (歴史研究会 西原真美氏寄贈)
○栢山父母懇Tシャツ (父母懇代表者 石田澄子氏寄贈) ○ラジオコンクール報告書/昭和37年 (松野洋子氏寄贈) ○写真/卒業アルバム/明治41年 (頓田千恵子氏寄贈) ○銘仙着物/大正13年卒業生製作 (清水ひろ子氏寄贈) ○イラスト地図 (八事、四谷、山手、覚王山) (後藤宗理氏寄贈) ○カードケース/食育推進センター布袋 (伊藤純子氏寄贈) ○スカーフ (オープンキャンパス使用) (三木邦弘氏寄贈) ○エコバック (小倉祥子氏寄贈) ○陶製皿時計 (短大十期生記念品) /校章/手鏡等7点 (栢山治代氏寄贈)
○基礎縫/名のお手本/カップ等5点 (杉野明子氏寄贈) ○ボールペン (平成27年度管理栄養学科卒業記念) / (栢山正弘氏寄贈) ○鉛筆 (小学校名入) /写真3枚 (昭和30年代) (松下万里子氏寄贈) ○絵葉書 (栢山女学園の思い出) 3枚セット (原画) (三富晃弘氏寄贈) ○生活環境デザイン学科教育・研究関係資料一式 (富田明美氏寄贈)
『訂正』第14号掲載 西脇正枝氏寄贈の卒業証書/女子専門学校附属高等女学校 (前回女子専門学校とご紹介したのは誤りでしたので訂正します。)



【歴史の窓】

絵はがき「二つ池から臨んだ女子専門学校の風景」(昭和初期)

どこかの避暑地ではと思ってしまうこの風景は、昭和初期の山添キャンパスを写したものです。

創設者の栢山正式氏が「山近き水清きところ」と述べているように、手前には満々と水をたたえる二つ池が映し出され、その奥に山添キャンパスの初代校舎が建っています。なお、二つ池は、幼稚園と小学校の間に昭和30年代まであった溜池で、近隣の人々が釣りを楽しんでいた。



現在埋め立てられて、二つ池公園になっています。約80年ほど前の山添キャンパスの風景は、今ではとても想像がつかないほど、自然豊かな地であったことがうかがえます。

【編集後記】

「栢山グッズ展」では、学生の皆さんや卒業生の方など、多くの方にお越しいただきました。また、グッズ投票でも多くの方にご参加いただき、大変感謝しております。現在、生活環境デザイン学科の企画展を開催しております。足を運んでいただければ幸いです。

歴史文化館ニュース 第15号

発行日 2016年(平成28年)7月11日

編集・発行 栢山歴史文化館

名古屋市千種区星が丘元町17番3号

TEL 052(781)1186(代)

052(781)4590(直)

編集担当者 栢山美恵子 村瀬輝恭 溝口紗恵香